

## 競技・審判上の注意

1. 本大会は、令和5年度（公財）日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程・公認審判員規程により行います。
2. マッチの進行は、マッチ番号順に空いたコートから入れていきます。本部よりマッチのコール後、10分経過しても当該プレイヤーがコートに入らない場合は、レフェリーの判断により「棄権」とみなします。
3. マッチ開始前に、3分間のウォームアップの時間を設けます。各コートの主審の『レディ トゥ プレー』のコールでマッチの準備をして下さい。ウォームアップは、ダブルスの場合はパートナーと、シングルスの場合は対戦相手と行ってください。コーチ等のヒッティングパートナーとのウォームアップは認めません。
4. マッチが連続する時は15分以内の休息を認めます。
5. 着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示については大会運営規程第24条を遵守してください。また、ゼッケンを使用する場合には、必ず四隅を固定してください。
6. 主審は主催者側で行います。
7. 線審は敗者線審制とします。敗者となったプレイヤーは、当該コートで線審を担当してください。シングルスでの敗者の場合、不足する線審については主催者側で行います。敗者線審につく際は（代理の方を含め）、体育館シューズ着用にご協力ください。
8. マッチを棄権する場合について、棄権届の提出が必要になります。
9. 大会前日までに、棄権する場合は棄権届【事前提出用】を提出してください。棄権届【事前提出用】については、プレイヤー個人からの提出は認めていません。必ず各都道府県協会の責任者（会長・理事長・事務局等）から提出してください。必要事項を入力しプリントアウトしたものに押印してください。それを写真にとり画像データとして【shakaijin2023\_kyoto@yahoo.co.jp】まで提出してください。
10. 大会中、マッチ前に棄権する場合は、本部に申し出、本部席にある棄権届に必要な事項を記入し提出してください。
11. 大会運営規程第19条により棄権したプレイヤーは、それより後の同一種目及び今大会にエントリーしている他の種目全てにおいて出場できません。ただし、ダブルスの場合、棄権したプレイヤーのパートナーは除くものとします。
12. 棄権届【事前提出用】が9/1（金）13:00 までに出された場合、レフェリーの判断においては上記11.の限りではありません。
13. シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。
14. 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。容器については、スクイズボトル等のフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。飲み物用のトレイは置きませんので、コートサイドの各自のバッグの中に置くようにしてください。クーラーボックスの持ち込み（コーチ席を含む）は認めません。なお、マッチ中の氷嚢の使用については、インターバルのときのみとします。
15. マッチ中のけがや病気について、応急処置は主催者で行いますが、その後の処置は各自の責任とします。
16. モバイル・通信機器・動画撮影機器について、競技者のフロアでの使用は禁止します。
17. 各コートに、コーチ席を2席置きますが、コーチはマッチにふさわしい服装で臨んでください。モバイル機器（タブレット・携帯電話等）を使用してのコーチングを禁止します。
18. 競技規則で認められたインターバル時に、競技区域に入れるのは同時に2人までです。
19. マッチ中のコート又はコート周辺でプレイヤーの携帯電話が鳴った時は、競技規則第16条第6項（4）の違反とみなします。
20. レフェリーにより失格を宣告されたプレイヤーは、今大会でエントリーしているすべての種目において失格となります。
21. 空気調節装置の使用に関しては、大会運営規程第16条によりレフェリーが判断します。